

脳神経内科	
診療科目：脳神経内科	
診療科担当研修責任者名： 小野寺 理（脳神経内科診療科長）	
診療科連絡先担当者名： 石黒 敬信（脳神経内科エデュケーショナルマネージャー） 林 秀樹（脳神経内科メンター）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：8人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
日本神経学会専門医20人、内科学会総合内科専門医14人、日本認知症学会認定専門医5人、脳卒中学会専門医2人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本神経学会指導医10人、内科学会指導医13人、日本認知症学会指導医5人、脳卒中学会指導医2人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
脳神経内科は脳と神経に関する病気を扱う内科です。扱う症候はとても多彩であり、内科の中でも総合診療的な色合いの大きい科と言えます。全ての診療科の訴えの患者さんが当科の新患には混ざってきますので、当科を研修することで、内科一般の初期診断の総合的な力がつくと自負しています。さらに、苦手な人の多い脳脊髄の画像診断を数多く経験できます。日本でも珍しい、脳神経系に特化した病理カンファレンスを毎月開催しています。また、脳研究所の基礎系の教室との共同研究で、先端の成果を日常の診療に応用する事も行っています。厚生労働省の主管する難病研究班の班長を務め、これらの疾患の全国的な中心地であると共に、医師主導治験など、新しい治療法の開発も行っています。日々の診療から、未来の診療まで携わることができる診療科です。	高齢化社会が進み、加齢性の脳神経系の病気には必ず遭遇します。頭痛、しびれ、認知症や、歩行障害、パーキンソン病など、よく見る脳神経系の病気の一般的な診察の仕方、専門医に紹介するポイントなど、初期レジデントの視点に立った指導を行います。屋根瓦式のグループ主治医制をとっており、いつでも相談でき、オンオフをしっかり切り替えて研修することが可能です。また、失神、痙攣、意識障害などの、救急疾患への対応も学ぶ事ができます。急性期から慢性期まで、脳神経系の問題に関する苦手意識を払拭する研修を目指しています。脳神経領域が得意な人も、苦手な人も是非、初期研修の内に、しっかりと、学んでください。